

2018年11月吉日

一般社団法人 日本塗料工業会

一般社団法人 日本シャッター・ドア協会

一般社団法人 日本サッシ協会

JPMS28 使用方法の注意事項について

標題の件、日本塗料工業会規格 JPMS 28 「一液形変性エポキシ樹脂さび止めペイント」は、平成 28 年版公共建築工事標準仕様書（建築工事編）及び同改修工事標準仕様書に採用され、2 年以上運用されてきました。その中で、誤った使用方法に起因すると考えられる不具合事例が、稀に発生しています。下記に使用方法の注意事項について記載していますので、JPMS 28 を採用する際には、今一度ご確認をお願いいたします。

記

1. さび止め塗料である JPMS 28 は、上塗りをして初めて優れた性能を発揮できます。上塗りをしていない状態では、塗料本来の性能を発揮できません。
2. JPMS28 の主成分であるエポキシ樹脂は耐水性、耐薬品性、付着性に優れていますが、さび止め塗装のまま長期に日光（紫外線）に当てるとチョーキング（白い粉の発生）の可能性があります。
3. チョーキングが出た場合は、全面軽く研磨紙ずりを行った後、上塗りをしてください。
4. さび止め塗料塗りから上塗りまでの期間が、塗料によって決まっています。その期間を越えた場合は、全面軽く研磨紙ずりを行った後、上塗りをしてください。
（平成 28 年版 建築工事監理指針（下巻）表 18.3.2 注 2 参照）

以上

表 18.3.2 亜鉛めっき鋼面錆止め塗料の標準工程間隔時間

| 種別 | 塗 料 | | 標準工程間隔時間 ^{(注) 2} (気温 20℃ のとき) |
|-----|---------------|--|---|
| | 規格番号 | 規格名称 | |
| A 種 | JPM S 28 | 一液形変性エポキシ樹脂さび止めペイント | 24 時間以上 7 日以内 |
| B 種 | JASS 18 M-109 | 変性エポキシ樹脂プライマー（変性エポキシ樹脂プライマーおよび弱溶剤系変性エポキシ樹脂プライマー） | 24 時間以上 7 日以内 |
| C 種 | JASS 18 M-111 | 水系さび止めペイント ^{(注) 1} | 4 時間以上 7 日以内 |

(注) 1 水系さび止めペイントについては、低温時及び湿度が高い条件では、乾燥硬化が非常に遅くなり、上記表に示す工程間隔時間が延びるので、良好な塗膜形成を得るためには、より長い工程間隔時間が必要となることがある。

2 工程間隔時間が7日をこえる場合は、塗膜が薄くならないように全面軽く研磨紙ずりを行う。

※ 一般社団法人公共建築協会 より転載許可済み。